



…… 1968年 プラハの春 …… 1990年 東西ドイツ統一 …… 1991年 ソ連崩壊 …… 2011年 アラブの春 …… 2012年 ……

**日時：2012年1月14日(土)**  
**10:00～18:00**  
**場所：上智大学四谷キャンパス**  
**12号館5階502教室**

シンポジウム  
ソ連の崩壊と中東の激動

1968年の「プラハの春」の挫折から20年後の1988年、ソ連・東欧では共産党・労働者党による一党支配体制、いわゆる「党＝国家体制」の崩壊が始まり、1990年には東西ドイツが統一、1991年12月にはついにソ連が崩壊した。しかし、ソ連・東欧諸国の体制移行の道のりは決して平坦なものではなかった。

一方、今また、「アラブの春」が世界の注目を集めている。中東の激動はどこまで波及し、変動の連鎖はどこまで続くのか。そもそも「アラブの春」のあとに、何がやってくるのだろうか。

シンポジウム「ソ連の崩壊と中東の激動」の第一部では、ソ連崩壊へ向けての激動とソ連崩壊後の軌跡を振り返り、体制移行期の諸問題を探る。第二部では「アラブの春」のさらなる拡大の可能性と限界を探るとともに、ソ連崩壊後の体制移行の軌跡が中東の今後の行方に何を示唆するのかを検討する。第三部では総括として、ソ連崩壊と中東の激動がもたらすであろう該当地域や国際情勢におけるさまざまな変化を討論形式で展望してみたい。

【共催】上智大学ヨーロッパ研究所、上智大学アジア文化研究所、上智大学外国語学部ロシア語学科・ハルピン学院顕彰基金、上智大学創立100周年記念事業「地球規模の課題解決に向けた21世紀型教育・研究国際連携プロジェクト」

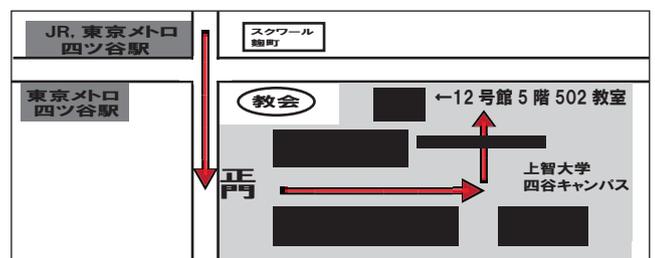
【後援】独立行政法人国際協力機構（JICA）

【お問合せ先】〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1  
 上智大学ヨーロッパ研究所 TEL: 03-3238-3902  
 上智大学アジア文化研究所 TEL: 03-3238-3697

※事前申し込み不要。直接会場にお越しください。  
 どなたでもご参加いただけます。

※交通アクセス

JR 中央線もしくは東京メトロ丸ノ内線 / 南北線  
 四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩5分



- プログラム■
- 10:00 開会  
**■第一部■**  
 10:10-10:35 講演①ペレストロイカの後半局面  
 —「大衆の高揚」が騒りを見せ始めるとき  
 塩川 伸明 (東京大学法学部教授)  
 10:35-11:00 講演②「民主化／民主化後退」論を超えて  
 —現代ロシア政治の実証的研究から見えるもの  
 上野 俊彦 (上智大学外国語学部教授)  
 11:00-11:25 講演③覇権国家とリベラル・デモクラシー  
 横手 慎二 (慶應義塾大学法学部教授)  
 一小休憩 (10分) —  
 11:35-12:00 講演④市場経済化の軌跡  
 —ロシアの市場と経済社会  
 溝端 佐登史 (京都大学経済研究所教授)  
 一昼休憩 (60分) —  
 13:00-13:25 講演⑤政治変動の見方 —ロシア政治分析  
 枠組みの変遷と其中東の政変理解への示唆—  
 大串 敦 (大阪経済法科大学法学部准教授)  
 13:25-13:50 講演⑥「革命」、ムスリム・ファクター、  
 地域秩序の再編  
 湯浅 剛 (防衛研究所主任研究官)  
 一小休憩 (10分) —  
**■第二部■**  
 14:00-14:25 講演⑦アラブ政変とイラン  
 桜井 啓子 (早稲田大学国際教養学部教授)  
 14:25-14:50 講演⑧ソーシャル・メディアと  
 アラブ人の政治意識  
 浜中 新吾 (山形大学地域教育文化学部准教授)  
 14:50-15:15 講演⑨ソ連圏の市場化の経験はアラブ諸国に  
 適用可能であるか— EBRD の新路線とも関連して  
 清水 学 (帝京大学経済学部教授)  
 一小休憩 (15分) —  
**■第三部■**  
 15:30-18:00 パネル・ディスカッション  
 パネリスト：溝端佐登史、塩川伸明、横手慎二、  
 (順不同) 桜井啓子、浜中新吾、清水学  
 18:00 終了